商工費

国際交流事業

山田委員　**国際交流事業委託料の実績が、当初予算比大幅減の理由は。また、今後の同事業の見通しを伺う。**

商工観光課長　中国との子どもスポーツ交流を予定していたが、中国側からの申し出により実現しなかった。交流事業は継続していきたい。

町長　町内の外国人労働者は年々増えており、その方々と地域をつなぐ役割も国際交流協会には求められている。

鮎は増えたか

竹田委員　**鮎の漁獲量は、令和6年度は1197匹だったが、7年度はどうだったのか。**

商工観光課長　335匹と過去最低であった。

竹田委員　**激減となった要因は何か。今後の取り組みはどうか。**

商工観光課長　ブラックバスやカワウの影響だけではなく、近年の高温や大雨など、川の状況も厳しい環境にあり、複合的に重なってこのような状況になったのではないかと思う。自然相手でもあるが、これまでの取り組みを行っていく。

土木費

除雪車運転の担い手確保

佐々木委員　**これまで町の補助金を活用して免許を取得された方々は、現在も運転手として活躍されているのか。**

建設課長　令和5年から合わせて9人に支援してきた。そのうち4人が町道除雪に従事している。他の方々は駐車場施設などで慣れてから町道に移行すると聞いている。

消防費

消火栓設置と備品への補助

丸川委員　**消火栓工事負担金について、令和7年度の内容はどのようなものか。**

総務課長　消火栓の更新8か所を実施して、その負担金として支出した。

丸川委員　**消火栓に付属する備品等を更新する場合の地元への補助の方向性を伺う。**

総務課長　備品等の管理は基本的に地元にお願いしている。平成30年度に地元に要望調査を行い、備品の更新等の支援を行っているので、その経過も踏まえ検討は必要と考えている。



守れ町民の安全

交付金に防災対応分

笹原委員　**地域づくり推進交付金に地域防災対応分が新設されたが成果を伺う。**

総務課長　消防団の運営費を町で負担することで地区の負担軽減になった。また、防火長靴も整備され消防力の強化につながった。

教育費

荒砥高校活性化事業

横山委員　**生徒確保や地元定着等の成果を伺う。**

教育次長　入学生が13人増え、運転免許取得費支援の対象者が3人増加した。追跡調査も検討しながら今後の支援の方向性を協議したい。

教育支援室の成果

笹原委員　**教育相談事業の取り組み成果を伺う。**

教育次長　学校に足が向かない子どもたちのための居場所や学びの場となる、場所を限定しない「あっとい～す」という教育支援室を設置し、生活支援や学習支援を行った。利用者は出席扱いとなる。

町駅伝大会の今後

佐々木委員　**町誕生記念駅伝競走大会の開催に際し、選手やスタッフの確保に大きな地域差が出ている。今後の開催方針を伺う。**

町長　合併以来続いており、スポーツ振興の面でも大事な大会である。地域により格差が出ていることは承知しているが、競争という形にこだわりながら、やり方を工夫し皆様の総意を尊重して継続していきたい。



工夫して継続を